

編集後記

■編集委員

委員長

藤田郁代

副委員長

立石雅子

石田宏代

今井智子

宇野彰

勝木準

熊倉勇美

倉内紀子

小林範子

小城将江

鈴木恵子

関啓子

玉井ふみ

深浦順一

矢守麻奈

新型インフルエンザの流行で、今年の日本言語聴覚学会は参加者が減少するのではないかと心配しましたが、それは杞憂に終わり、川崎医療福祉大学で開催された会は盛会のうちに終了しました。発表演題は225題あり、関連分野の学問の進歩と変化の激しい臨床状況を反映した興味深い研究が多く発表され、充実した会でした。臨床現場の複雑な問題を研究課題とし、客観化するには一定の方法論が必要ですが、この難解な作業に意欲的に取り組まれた研究が多く、本分野では研究と臨床が表裏一体の関係で進んでいることを実感しました。

発表演題を総じてみますと、研究方法としては量的研究が多く、的確な方法で行われた質的研究はまだ少ないといえます。言語やコミュニケーションは、数値化しにくい現象であり、数値化するためには一定の条件統制が必要となります。しかしながら、条件統制を厳密にしすぎますと、自然な行動からかけ離れた特定の反応を研究対象にすることになり、その結果の現実への適用が難しくなります。言語やコミュニケーションには、量的分析だけでは掘いがない部分があり、それが意味伝達においては非常に重要です。質的研究の方法論は発展途上にありますが、本分野において客観性の高い、すなわち自己省察性の強い質的研究が増えることを期待したいと思います。

(藤田郁代)

言語聴覚研究(第6巻 第2号)2009年7月15日発行

Japanese Journal of Speech, Language, and Hearing Research

編集・発行：日本言語聴覚士協会(会長：深浦順一)

〒160-0022 東京都新宿区新宿 2-5-16 霞ビル 801

(☎03-6412-9853 FAX 03-6412-9854) <http://www.jaslht.gr.jp/>

Published by Japanese Association of Speech-Language-Hearing Therapists (JAS), Kasumi-Build. #801, 2-5-16 Shinjuku Shinjuku-ku, Tokyo, 160-0022, Japan

©2009, Printed in Japan

制作・発売：(株)医学書院(代表：金原 優) <http://www.igaku-shoin.co.jp/>

〒113-8719 東京都文京区本郷 1-28-23(振替口座 00170-9-96693 番)

販売部直通 ☎03-3817-5659・5660(FAX 03-3815-7804)

印刷所 (株)アイワード ☎011-241-9341(FAX 011-207-6178)

広告申込所 (株)医薬広告社 ☎03-3814-1971(FAX 03-3814-8915)